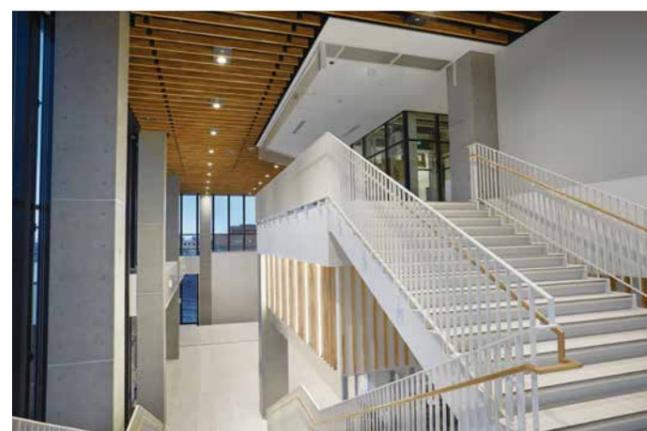




つがる市総合体育館
 所在地／青森県つがる市木造若緑
 事業主／つがる市
 設計／アール・エー・ピー開発株式会社
 建設工事／竹中工務店・伊藤鉱業特定建設工事共同企業体
 電気工事／株式会社ユアテック
 竣工／2023年1月
 建築面積／8,155.51m²
 延床面積／10,794.84m²



屋外と武道場が望める開放的な2階トレーニングルーム



木材を多用したエントランスホール



雪深い冬でも市民の健康向上に寄与する1周260mの屋内ランニングコース



メインアリーナに設けられた足元灯



(上) ナチュラル: 白色をベースに、かすかな明暗がリズムを生み出す。(下左) 春まつり: 桜をピンク、岩木山の雪解けを白と水色で表現することで、春の訪れの喜びを伝える。(下中) 馬市まつり: 馬ねぶたの山車のカラフルさと、昇天火祭をイメージした赤・オレンジ・黒が交互に出現。(下右) つがる市カラー: 1町4村(5色)をグラデーションで表現

つがる市総合体育館

5本の「アーキライン」がつくり出すダイナミックな光のランドマーク

つがる市は、2005年に青森県西津軽郡木造町、森田村、柏村、稲垣村、車力村の1町4村が合併して誕生。各町村にあったスポーツ施設を統合する形で、つがる市総合体育館が2023年1月に竣工した。RC造2階建の体育館はメインアリーナとサブアリーナを擁し、キッズルームやトレーニングルームも備えている。2026年には第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあもり国スポ」の開催が予定されており、つがる市総合体育館は、6人制少年女子バレーボールと柔道の正式競技会場に指定されている。建物外壁はライトアップ

演出用照明器具「アーキライン」による5本の光の帯によって季節やイベントに合わせて動的に表情を変化させる。つがる市教育委員会 教育部社会教育スポーツ課 課長 高橋 隆治氏は「縄文遺跡の三角紋様の下に5本のライン照明を配置し、縄文の里で1町4村が合併し誕生したつがる市を表現できる照明として採用した。パナソニックからは単に光色を変えるだけではなく、光のグラデーションや動きを加えたダイナミックなライトアップにする提案を受け、馬市まつりや縄文をイメージしたものなど11の演出パターンを採用した。その結果、光のランドマークとしての存在が際立ち、満足している」と語る。

- 主な納入設備
- ライトアップ演出用照明器具「アーキライン」
 - LEDベースライト ● LEDダウンライト ● LED足元灯